

令和3年度取組状況

ものづくり工学科 電気電子工学コース 准教授 相良 拓也

取組状況	
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・MoodleによるCBTの作成を行い、追認試験に導入した。 ・第二種電気工事士の筆記試験のCBTを作成した。 ・第二種電気工事士の実技試験の放課後の補講を実施し、43の合格者を輩出した。 ・工業高校からの編入生へ相互誘導、共振回路、三相交流の補講を開講した。 ・分散登校になった際に、Teamsでのオンライン授業に移行した。
研究	<ul style="list-style-type: none"> ・液中放電用の電解コンデンサの絶縁油に含有されるPCB成分検査に協力した。 ・検査により、コンデンサが使用不可となったため、研究計画を変更し、3Dプリンターを活用した研究内容に変更した。 ・3月の令和4年電気学会全国大会のセンサ・マイクロマシンビギナーズセッションにて「3Dプリンタによる導電性フィラメントを用いた曲げセンサ開発」という題目で卒研生に口頭発表を行わせることができた。
社会貢献	<p>若手技術者支援のための講座では8名の社会人に向けてリレーシーケンス講座を5回分、恙無く実施した。</p> <p>八潮学園ものづくり教室では、92名の児童に対して例年通り簡易的なモーターの作製を行った。昨年度好評だったモーターの回転数計による順位付けにより、児童達の競争心を奮わせることでものづくりの楽しさを教えることができた。今年度は、ハンドタイプのガウスメーターを用いて、フェライト磁石とネオジム磁石の強さを数値化して示した。</p>